

がん対策の推進に関する意見交換会（平成18年12月20日）抄録

緩和医療からみたがん対策の課題と方向性

日本緩和医療学会としての取り組み

江口研二

日本緩和医療学会理事長

東海大学医学部腫瘍内科・オンコロジーセンター

がん緩和医療とは

がん緩和医療は、単に終末期患者を対象にするものではなく、がんを疑われた、あるいはがんという診断がついた時点からはじまるものと考えています。患者さんのがんに伴う身体症状・精神症状の緩和だけでなく、抗癌剤・放射線・手術療法など治療にともなう副作用対策も含む専門分野です。

がん緩和医療を専門とする医療スタッフの力量

がん緩和医療では、患者さんの日常生活の質（Quality of Life: QOL）が重要です。医療スタッフによる客観的な症状の評価だけでなく、患者さんご自身の主観的な評価も重視すべきです。がん性疼痛を例にとると、各科の主治医からの依頼に、まず現在の疼痛の原因が何かを迅速かつ的確に診断すること、また、それと同時併行で症状軽減のための治療を進めることがポイントです。このように患者の視点も考慮し、迅速な対応により、患者さんとの認識のギャップをできるだけ少なくすることが、がん緩和治療に要求される総合的な技術力です。

日本緩和医療学会（<http://www.jspm.ne.jp>）の取り組み

日本緩和医療学会は、「がん患者の全経過を対象として、Palliative Medicine の専門的発展のための学際的、学問的研究を促進し、結果を医学教育と臨床医学とに反映させること」を目的として、1996年に発足しました。現在会員数は4900名を超え、半数が医師、約3割強が看護師、その他、薬剤師、ソーシャルワーカーなど多職種の会員により構成されています。がん緩和医療を全国的に整備するための司令塔としての役割を担うために、2006年にNPO法人化の申請を行いました。

教育について

緩和医療学会は、全国で行われているがん緩和医療の質の向上と普及のために、医療スタッフの教育と緩和ケアチームの充実を大きな事業としています。がん患者さんの負担になる個々の症状についての診療ガイドラインを、厚生労働省研究班と協力し作成しています。今後も、がん緩和医療に特有の問題や症状に

ついでに診療ガイドライン作成作業を進め、これらを書物やホームページ掲載等で公表していきます。また欧米学会の教育カリキュラムを参考に、がん緩和医療の教育研修カリキュラムを作成し、それに基づいて体系的な医療者向けの教育研修を実施しています。ひとつは、各地域での緩和医療に関する教育担当者を養成するトレーナーズセミナーであり、また全会員を対象とした教育研修カリキュラム修得用のセミナーを定期的に開始しています。全国のがん拠点病院・訪問診療による在宅療養など医療機関の役割分担と連携を充実させた地域ネットワークが有効に機能するためには、前提として、緩和医療の人材確保が必須です。このために学会は、緩和医療専門医の資格制度の設置準備を進めています。また在宅医療を担う実地医家など一般の医師を対象としたがん緩和医療に関する教育も、がん連携拠点病院などと協力して行うことにしています。

緩和ケアの地域ネットワーク

専門医師・看護師によるがん緩和ケアチームは、各科主治医との連携がうまくいくと、患者さん・ご家族の方々にとって心強い支援となります。緩和医療外来も含め、単一医療機関だけでなく、地域の中での良質な緩和ケアの体制をネットワークとして構築する必要があります。しかし、現実的には、緩和ケアチームの医師を養成する体系的なシステムは十分でないこと、がん専門の精神科医が少ないこと、など課題も多く、この意味でも人材育成の体制整備は急務と考えています。

がん緩和医療の研究体制

従来、機械的な臨床試験などは緩和医療にそぐわないという意見も多く聞かれました。しかし、最近の薬剤関連の有害事象報告や、保険適応外の治療方法の実施などの問題は放置できなくなってきました。日本におけるがん緩和医療の多施設共同臨床試験をもっと効率よく進める体制（試験計画の立案、IRB 審査体制、研究資金調達、臨床試験支援スタッフ確保など）を整える必要があります。

がん緩和医療は本来連続した医療の一環であり、その意味からも患者・家族と医療者の信頼関係や臨床腫瘍医と緩和医療医との連携などは、その前提になるはずのものです。しかし臨床の現場では、かならずしも円滑にゆかず、誰もが消耗する事態に立ち至ることも経験します。今後は、緩和医療に使用する新しい薬剤も増え、社会からもがん緩和医療のいっそうの充実が要望されています。全国どこでも受けられる良質のがん緩和医療の実現には、地域医療機関の役割分担と連携、職種を超えた医療関係者のチームワークとそれらを担う人材の養成がポイントであると考えます。